

「第一の故郷」

かったような、そんな充実した日々でした。

栄養学の勉強は深く難しく、多くの実習も大変でしたが、管理栄養士の資格を取得するという同じ目標をもった同志が沢山周りにいてくれたから、共に切磋琢磨し、励み続けることができたと思っています。

名寄市立大学での学生生活も残り約3カ月となりました。振り返ってみると毎日が刺激的であったという間のような、長

ての一人暮らし同士、支え合いながら過ごした日々は、かけがえのない思い出です。

また、入学当初はコロナウイルスの影響で、帰省することや離れた友人に会いに行くことも難しい状況でしたが、初め

や、大人数の前でのライブなども経験でき、音楽に熱中した4年間でした。先輩や後輩、ライブハウスの方々や音響をしてくれた方々など、

私が1年生の時に4年生だった先輩達のバンドをしている姿に憧れを抱き、一度も楽器を触ったことがないまま、バンドを結成しました。勢いで始めたことでしたが、サークル長としてイベントを立案し実施すること

領域に踏み込み、努力・成長する力を身に着けました。これを活かし、今後も何事にも恐れずに挑戦し続け、より多くの経験や出会い、学びを身に着けていきたいと考えています。

大学4年間での出合いや、経験、思い出があったときに思い出して、また頑張ろう、と思えるような大切なものだと感じています。4年間まるで親のように支えてくれた方や、昔からずっと一緒にいたように感じる友人が沢山出来ました。大学に入る前の不安でいっぱいだった



生頑張る糧になつてくれるような素敵な時間を過ごすことができましたのは、大学に通わせて、ずっと応援

た自分に自信をもつてこの大学を選んでくれてありがとうと伝えたいです。このような幸せな環境や出会えたすべての人々に感謝しながら、残りの学生生活を大切に過ごしていきたいと思

し、支えて続けてくれていた両親のおかげです。2人には少しづつでも親孝行ができるよう、社会に出てからも4年間の学びを活かして努めていきたいと思

栄養学科4年
渡辺花凜